

様式第 1 0

小牧岩倉地域循環型社会形成推進地域計画改善計画書

| 地域名    | 構成市町村等名          | 計画期間           | 事業実施期間         |
|--------|------------------|----------------|----------------|
| 小牧岩倉地域 | 小牧市、岩倉市、小牧岩倉衛生組合 | 平成 27 年度～令和元年度 | 平成 27 年度～令和元年度 |

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

| 指 標   |                 | 現状 (割合※ 1)<br>(平成 25 年度) | 目標 (割合※ 1)<br>(令和 2 年度) A | 実績 (割合※ 1)<br>(令和 2 年度) B | 実績/目標<br>※ 2 |
|-------|-----------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------|
| 排出量   | 家庭系 総排出量        | 43,742t                  | 41,486t (-5.2%)           | 42,375t (-3.1%)           | 59.6%        |
|       | 1人当たりの排出量       | 166.0kg/人                | 155.2kg/人 (-6.5%)         | 173.0kg/人 (4.2%)          | -64.6%       |
|       | 合計 事業系家庭系総排出量合計 | 60,119t                  | 57,307t (-4.7%)           | 57,809t (-3.8%)           | 80.9%        |
| 再生利用量 | 直接資源化量          | 8,756t (14.6%)           | 9,309t (16.3%)            | 7,828t (13.5%)            | -64.7%       |
|       | 総資源化量           | 19,499t (30.5%)          | 21,596t (35.5%)           | 21,468t (34.8%)           | 86.0%        |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量         | 7,189t (12.0%)           | 1,318t (2.30%)            | 1,343t (2.32%)            | 99.8%        |

※ 1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※ 2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

| 指 標      | 現 状<br>(令和 年度)     | 目 標<br>(令和 年度) A | 実 績<br>(令和 年度) B | 実績/目標<br>※ 3 |
|----------|--------------------|------------------|------------------|--------------|
| 総人口      |                    |                  |                  | —            |
| 公共下水道    | 汚水衛生処理人口           |                  |                  | %            |
|          | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | %                | %                | %            |
| 集落排水施設等  | 汚水衛生処理人口           |                  |                  | %            |
|          | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | %                | %                | %            |
| 合併処理浄化槽等 | 汚水衛生処理人口           |                  |                  | %            |
|          | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | %                | %                | %            |
| 未処理人口    | 汚水衛生未処理人口          |                  |                  | %            |

※ 3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

## 2 目標が達成できなかった要因

### ○排出量

排出量の目標が達成できなかった要因は、家庭系ごみにおいて燃やすごみの排出量削減が進まなかったこと、粗大ごみの排出量が増加したためである。

燃やすごみの排出量削減が進まなかった要因としては、生ごみの減量及びリサイクルの推進が進まなかったことに加えて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により不要不急の行動自粛やテレワーク勤務の普及により自宅で過ごす人が増加したことによると考えられる。

また、粗大ごみの排出量が増加した要因としては、空き家整理や遺品整理等において不要となる生活用品類の発生が増加したためと考えられる。

### ○再生利用量

再生利用量の目標が達成できなかった要因は、資源ごみの収集及び集団回収において、主に古紙及びびん類の収集量が目標を下回ったためである。これは、古紙については新聞・雑誌の発行部数の減少によるもの、びん類については飲料製品の生産がペットボトル容器での生産に変更が進んだことによるもののほか、ごみ排出抑制意識の向上により資源ごみ自体の排出量が減少したことや民間事業者による自主回収の拡大によるものと考えられる。

### ○最終処分量

最終処分量の目標が達成できなかった要因は、直接最終処分量（埋立ごみ排出量）が目標を上回ったためであり、これは火災廃棄物の受け入れによるものである。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和6年度まで

### ○排出量

・生ごみの排出量削減や古紙類の再資源化の推進を図るため、引き続き、市民・事業者に対して、発生抑制に関する周知啓発を実施する。

### ○再生利用量

・引き続き、環境教育、啓発活動の充実を推進するとともに、新たな資源回収拠点の開設等により、市民の資源排出機会を増加させる。

### ○最終処分量

・埋立ごみとして持ち込まれる火災廃棄物について、ごみ溶融施設で処理が可能な物は溶融し資源化する等、最終処分量の削減を図る。

(都道府県知事の所見)

**【ごみ処理】**

家庭系総排出量、家庭系1人当たりの排出量及び事業系家庭系総排出量合計は目標未達成であった。これは、家庭系ごみにおいて燃やすごみの排出量削減が進まなかったことや、粗大ごみの排出量が増加したこと等によるものと考えられる。

再生利用量について、直接資源化量及び総資源化量ともに目標未達成であった。これは、電子書籍の普及に伴い雑誌等の紙類の回収量が減少したことや、民間のリサイクル回収拠点の普及に伴い住民の古紙等の排出先の選択肢が増えたこと等によるものと考えられる。

埋立最終処分量は目標未達成であった。これは、火災等で突発的に発生した廃棄物を受け入れたこと等によるものと考えられる。

事業系ごみ及び生活系ごみの発生抑制、資源回収の向上に向けた方策等、目標の達成に向けた施策等を着実に推進し、さらなる循環型社会の形成推進に努められたい。